

WEEfINE

WF スマートハウジング PRO WFH05

10515

WF スマートハウジング WFH06

10516

Fisheye

目次

安全にお使いいただくために	03
事前チェック	05
仕様	05
各部名称	06
【取扱方法】	
セッティング	07
バキュームシステム	09
アプリケーション	10
メンテナンス	11
保証規定	14

安全にお使いいただくために

- この説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
- 誤った使い方をされると、故障や水没の原因となり、修理不能になる場合があります。
- ご使用の際にはこの説明書に従い必ず点検、テストを行ってください。
- スマートフォンの水没、故障、データの消失による補償や、分解、改造、修理に伴う事故などに関し、弊社では一切責任を負いかねますので、ご了承ください。また、使用時の人身、物損事故に関しての補償はいたしかねます。
- 本製品はアルミ削り出し工法により製作されております。そのため、多少の傷、切削目が見られる場合がありますが、動作には支障ありません。このような工法上のクレームはご容赦願います。

■ 安全上の注意

ここに表示した注意事項は、状況によっては重大な結果に結びつくおそれがあります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

-  **危険** 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
-  **警告** 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
-  **注意** 取扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

危険

- 本製品の改造・分解は絶対におやめください。水没や発熱、発火の原因になります。
- 本製品を水中で使用する際は、水深や潜水時間に十分ご注意ください。水中撮影に没頭しすぎると重大な潜水事故につながる危険性があります

警告

- 本製品を乳児、幼児、小さなお子様など、本製品の安全上の注意について理解できない人の手の届く場所に保管しないでください。落下によるケガ、Oリングによる窒息、小さな部品を飲み込むなど、事故の原因となります。
- 本製品を長期間使用されない時はスマートフォン本体を取り出してください。バッテリーのトラブルなどによる発火のおそれがあります。
- 本製品は樹脂製素材を使用しております。強い衝撃や圧迫によって破損した場合、破片や割れた部分によるケガをするおそれがあります。
- 本製品付属のOリングやグリスなどは食べられません。

注意

- 本製品は 80m の水深まで耐えられるように設計されています。それ以上深い場所で使用されたり、浅い深度においても衝撃や圧迫を加えると、破損や浸水のおそれがあります。
- 浸水や故障などの事故を防ぐために、本製品の使用前後には必ず点検とメンテナンスを実施してください。
- 気温が異常に高くなる、あるいは低くなる場所、極端に大きな温度変化がある場所などに本製品を置いたり、保管したりしないでください。部品が劣化し、本体の破損や防水機能を損なうおそれがあります。
- 砂や塵、ほこりなどが多い場所でハウジングを開閉すると、異物が付着することで防水性能が損なわれ、浸水の原因となります。
- 飛行機で移動する場合などは、本体の O リングを外しておくことをおすすめします。気圧の変化でハウジングが開かなくなったり、その状態で無理に開こうとすることで本体の破損やケガをするおそれがあります。
- アルコールやベンジン、シンナーなどの有機系溶剤は、破損や変形の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- 万一、浸水が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。また、浸水している場合、ハウジング内部の圧力が高くなっていることがあります。ハウジングを開ける際、水が噴き出したり、本体が跳ねたりするおそれがありますので、十分にご注意ください。
- 本製品の一部には樹脂製素材を使用しています。使用中に岩などにぶつけて強い衝撃を与えると破損するおそれがあります。
- ダイビングのエントリー方法によっては製品に衝撃を与え、浸水や破損の原因となります。とくにボートダイブではエントリー後に船上から手渡してもらうなど、エントリー時の取扱には十分注意してください。
- ハウジングを開閉する際、ほこりやゴミの付着に注意してください。O リングの破損から浸水が発生するおそれがあります。
- ご使用前には必ず O リングのメンテナンスを実施してください。とくにグリスアップを怠ると、O リングのねじれや劣化につながり、浸水するおそれがあります。
- ハウジングの内部をよく乾燥させた状態でご使用ください。水分が残っていると結露が発生するおそれがあります。使用環境、温度差、湿度により結露が発生する場合は、弊社製品の『FIX シリカシート』のご使用をおすすめします。
- ご使用前に直射日光の当たる場所に放置しないでください。ハウジング内部の温度が高くなった状態で水に浸けると、急激な温度変化により結露が発生するおそれがあります。

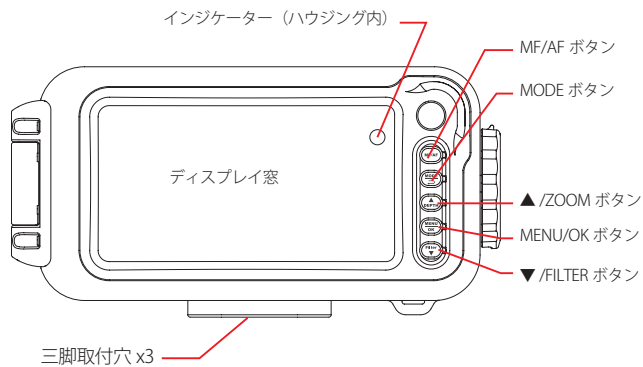
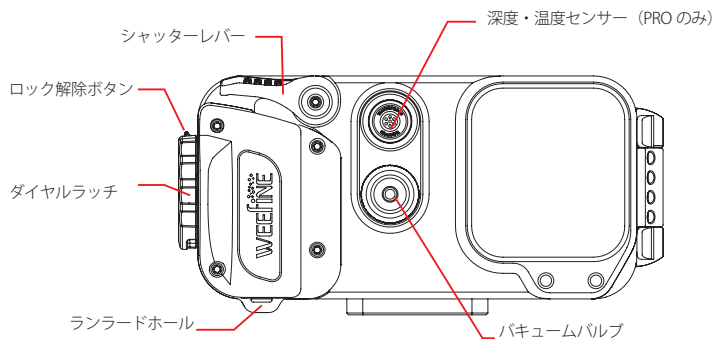
事前チェック

- 本製品を開梱する前に輸送時のダメージをご確認ください。もし大きなへこみなど梱包に異変があれば、お届けの配送業者あるいはご購入いただいた販売店にご連絡ください。
- すべてのハウジングは耐圧検査を実施のうえ出荷しておりますが、輸送時に何らかのトラブルが発生する場合があります。水中での使用前に、スマートフォンを装填しない状態での防水チェック実施を強くおすすめいたします。
- ご使用前に付属品がすべてそろっているかご確認ください。

仕様

対象スマートフォン	長さ 165mm 以下、幅 85mm 以下、厚さ 9.5mm 以下の iPhone および Android 端末 ※サイズ範囲内のスマートフォンであっても、レンズの位置と ハウジングのレンズ窓との位置が合わない機種は使用できません ※すべての機種で動作を保証するものではありません
最大水深	80m
材質	アルミ合金、ポリカーボネート
サイズ (本体)	W203 × H104 × D61mm
重量	860g / 水中 : 380g (iPhone X 装着時)
付属品	スペア O リング (メイン× 1 / バキュームバルブ× 2)、 O リングリムーバー、O リンググリス、バキュームポンプ、 単 4 乾電池× 2、スペーサー、リストラップ、 クリーニングクロス、キャリングバッグ、QR カード、保証カード

各部名称



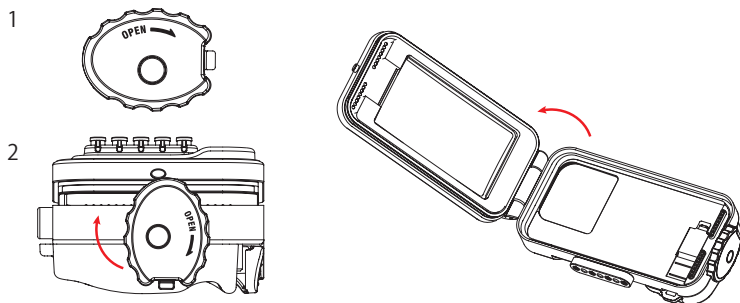
取扱方法

■ セッティング

※以下の操作は湿気やほこりの少ない清潔なところで実施してください。

ハウジングの開け方

1. ダイヤルラッチの赤いロック解除ボタンを手前に引き上げます。(図 1)
2. ロック解除ボタンを引き上げながらダイヤルラッチを「OPEN」の方向(時計回り)に回すとハウジングが開きます。(図 2)

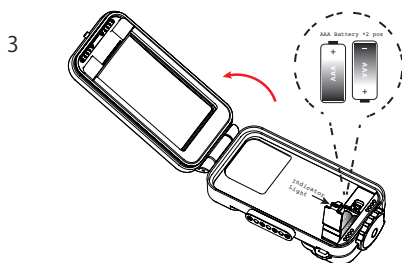


⚠ 注意

- ハウジングを開ける時は、完全に陰圧状態を解放してから開けてください。
- ハウジングが濡れているときは、よく水滴を拭き取ってから開閉してください。水滴が内部に垂れると、端子部分が錆びるなどの原因になります。

電池の装填

1. バッテリーボックスの蓋を開け、図のように単 4 電池を 2 本、マイナス側から装填します。(図 3)
2. バッテリーボックス横のインジケーターが緑色の点滅を始めます。
3. スマートフォンとの Bluetooth 接続が成立すれば緑色の点灯に変わります。
4. 電池が消耗すれば赤色に点灯または点滅します。新しい単 4 電池と交換してください。



⚠ 注意

- 電池の向き(＋と－)をよく確かめて、正しく装填してください。
- 銘柄が異なる電池を混合して使用しないでください。
- 古い電池と新しい電池を混合して使用しないでください。
- ハウジングを使用した後は、必ず電池を取り出してください。

スマートフォンのセッティング

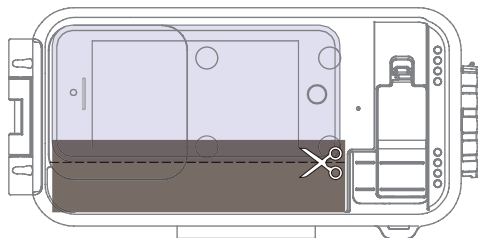
本製品で使用可能なスマートフォンは、iPhone／Androidともに、長さ 165mm 以下、幅 85mm 以下、厚さ 9.5mm 以下の端末となります。カバーやバンカーリングは取り外してご使用ください。

1. あらかじめ専用アプリをダウンロードして、使用するスマートフォンにはインストールしておきます。
(ダウンロードおよびインストールの方法は弊社 WEB をご参照ください)
2. スマートフォンの " 自動輝度調整機能 " はオフにします。
3. アプリを起動させます。
4. ハウジングとスマートフォンを Bluetooth 接続します。

ハウジングの閉じ方

1. スマートフォンが正しくセットされているか確認します。
2. O リングと O リング接触面にゴミなどの付着物がないか確認します。ハウジングを閉じた際、内部でスマートフォンが動いてしまう場合は、付属のスペーサーを適当な大きさにカットし、ハウジング内部とスマートフォンの隙間を埋めて下さい。
3. ハウジングの凸部がダイヤルラッチの溝に収まるよう静かに閉めます。
4. ダイヤルラッチを「OPEN」と反対方向(反時計回り)に回します。
5. " カチッ " という音がして、ロック解除ボタンが収まったことを確認します。
6. バキュームシステムの赤いインジケータが点灯します。(⇒ P9)

2



スマートフォンのサイズに合わせて
スペーサーをカットする

⚠ 注意

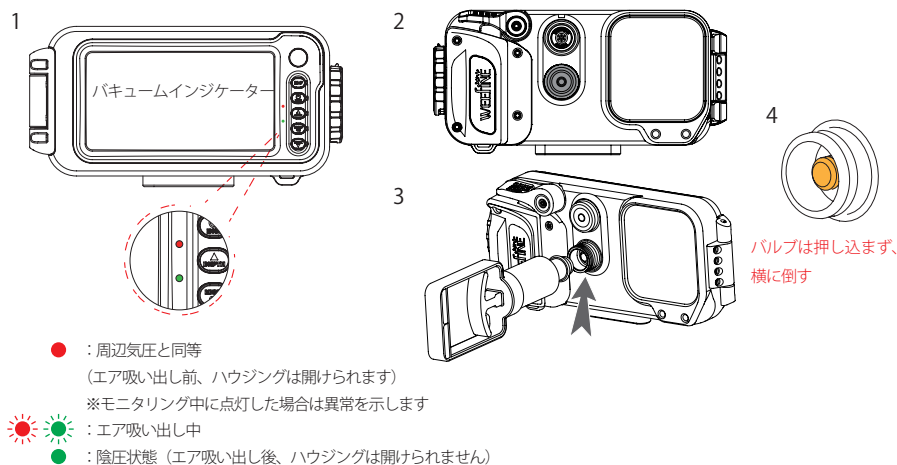
- スマートフォンのレンズおよびスクリーンはクリーニングクロスなどできれいに拭いてください。
- セットしたスマートフォンがハウジングを構えた状態で水平になるよう固定位置を微調整してください。
- ロック状態のダイヤルラッチを回し、しっかりと固定されていることを確認してください。
- 髪の毛や糸くず等、挟んでいないか必ずハウジングの全周を見わたして確認してください。

■ バキュームシステム

※ハウジング内部を陰圧にすることにより、セットされたスマートハウジングの防水性を事前にチェックできるシステムです。

使用方法

1. スマートフォンをセッティングしてハウジングを閉じます。バキュームシステムの赤色 LED が点灯します。(図 1)
2. バキュームバルブのキャップを反時計回りに回して取り外します。(図 2)
3. 付属のバキュームポンプ先端のゴム部をバキュームバルブに押し込みます。**エアの吸い出しが完了するまで吸入部を押さえておきます。**(図 3)
4. バキュームポンプのレバーを引いて、ハウジング内部のエアを吸い出します。赤色 LED と緑色 LED が交互に点滅を開始します。
5. 吸い出しが規定値に達すると、赤色 LED が消え、緑色 LED が点灯します。緑色 LED が点灯した時点で吸い出しを終了してください。赤色 LED が点灯したままの場合はシール状態 (O リング) をチェックし、再度エアの吸い出しを実施します。
6. 緑色 LED 点灯後、約 30 分経過して変化がなければ問題ありません。30 分間のモニタリング中に赤色 LED が点灯した場合は、シール状態 (O リング) を再チェックします。
7. バキュームバルブのキャップを取り付けます。取り外したまま使用すると浸水のおそれがありますので、必ず取り付けてください。
8. ハウジングを開ける際は、バキュームバルブのキャップを取り外し、**黄色のバルブを指先で横に倒して**、陰圧状態のハウジング内部を開放します。赤色 LED が点灯すればハウジングを開けることができます。(図 4)



⚠ 注意

- 陰圧状態のハウジングを無理に開けようとしないでください。ダイヤルラッチを破損させてしまうおそれがあります。
- 緑色 LED 点灯 (陰圧状態) にならない場合は、使用を中止して弊社カスタマーサービス (TEL03-5988-0191) までご連絡ください。

■ アプリケーション「潜水相机 (iOS)」 「潜水相机 (Android)」

アプリケーションのダウンロードは、こちら



App Store



Google Play

「潜水相机」の使い方

【接続】

以下の操作は、アプリケーションをダウンロード・インストールしてからの手順となります。

1. 本製品に単 4 電池を装填し、Bluetooth 接続インジケータの緑色点滅を確認します。
2. Bluetooth を ON にし、アプリケーションを起動します。
3. 「指定のデバイスに接続してください」と表示されますので、「WEEFINE」を選択してください。



注意

- アプリケーション使用時には、スマートフォンの「画面表示と明るさ」設定の自動ロックを解除してください。ハウジングの蓋の開閉の際、設定時間で画面が暗くなります。
- 前回の接続設定が残っている状態で再接続を行っても、「WEEFINE」が表示されません。アプリケーションを上からスワイプして、再起動してから、接続してください。お持ちのデバイスに登録済みの "Weefine" から接続すると、近くにある他の WF ハウジングに接続されてしまうことがあります。

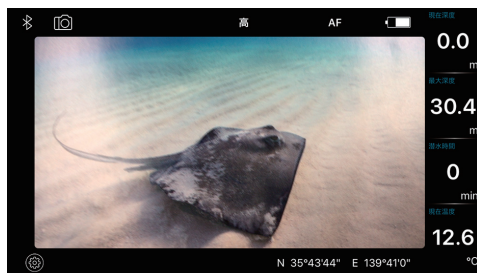
【操作・設定】

アプリの操作や設定方法は、弊社 WEB サイトをご参照ください。

【ダイビングログモード】（スマートハウジング PRO のみ）

MENU 画面設定より「フォトフレーム表示」を ON にすることで、数値が表示され、ログデータとして記録されます。

- ① 撮影モード
- ② 解像度
- ③ フォーカスモード
- ④ スマートフォン電池残量
- ⑤ 現在深度
- ⑥ 最大深度
- ⑦ 潜水時間
- ⑧ 現在温度
- ⑨ 経度
- ⑩ 緯度
- ⑪ 設定



メンテナンス

■ご使用前に

1. スマートフォンを装填する前に、空の状態のハウジングを実際に使用する深度まで沈めて浸水の有無を確認してください。

2. ハウジングの浸水事故は、おもに以下のケアレスミスが原因です。

- Oリングの付け忘れ。
- Oリングが溝に正しくはまっていない。
- Oリングにキズ、ひびがある。または変質、変形している。
- Oリングの溝もしくは接触面に、砂やゴミ、髪の毛などが付着している。
- Oリング接触面やOリングの溝に傷がある。
- ハウジングを閉じる際にストラップや除湿剤などを挟み込んでしまう。

※ハウジングに水漏れがある場合、上記の原因を取り除き再度テストを行なってください。

⚠ 注意

事前テストは実際に使用する深度での実施が最適です。ただ、その深度を確保するのが難しく、より浅い深度での浸水テストとなっても、必ず実施してください。事前テストを実施したにもかかわらず浸水が確認される場合は、製品の使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社カスタマーサービスまでご相談ください。

■ダイビング前のチェック

ダイビングでご使用になる前に、以下の最終チェックを必ず実施してください。

1. 水を張ったカメラ洗い桶に（なければ水面にて）、ハウジングを水平の状態ですっきりと水に沈めます。
2. 最初は3秒間水に入れ、ハウジング本体から気泡が上がってこないか確認します。Oリングの付け忘れやストラップなどの挟み込みがあれば、わずか3秒でも浸水します。
3. 同様に30秒／3分とチェックを行います。
4. ハウジング本体から継続的に気泡が上がる場合は使用を中止し、再度Oリングのチェックをしてください。

⚠ 注意

ハウジングを持ったままボートや高所からエントリーするなど、ハウジングの一方向に強い水圧がかからないよう注意してください。浸水のリスクが高まります。

■ O リングのメンテナンス

1. 本製品付属の O リングリムーバーを、O リングと本体の溝の間に差し込みます。
2. O リングリムーバーの先端で O リングを引っ掛け、溝から O リングを外します。
3. O リングと O リング溝に付着した砂、塩、古いグリスを除去します。O リング溝は綿棒などを使うときれいに清掃できます。指の感触や目視によってキズやひび割れなどをチェックします。
4. もしキズやひび割れなどがある場合は O リングを交換します。
5. 本製品付属のシリコングリスを米粒大ほど指先に取り、3 本の指で挟むように O リング全体に均一に塗ります。その際、力を入れて O リングを引っ張らないようにしてください。グリス自体には防水性はありませんが、グリスの量が少ないと O リングが溝の中で部分的にねじれ、浸水の原因となります。
6. O リングを溝に収めます。その際、O リングがねじれたり、はみ出したりしないよう注意してください。
7. ハウジングを閉じる際に、もう一度 O リング面と O リング接触面を目視および指でなぞって、ゴミや髪の毛などの付着がないか確認します。

⚠ 注意

- O リング面に小さな傷やひび割れなどがある場合、その O リングは絶対に使用せず、すぐに新しい O リングと交換してください。
- O リング溝、または O リングが当たる接触面にも砂や小さなゴミ、髪の毛などが付着していないか必ず確認してください。また、傷やひびなどがないかしっかり確認してください。
- O リングや O リング溝、O リング接触面のチェック、グリスアップは、ハウジング開閉時に毎回実施してください。
- 本製品の O リングはシリコンタイプを使用しています。グリスアップは必ず付属の O リンググリスを使用してください。付属のグリス以外を使用すると O リングが膨張し、防水性能を損ないます。

■ 使用後のメンテナンス

海で使用した後は以下の手順で塩分を洗い流してください。

1. 真水を溜めたカメラ専用の洗い桶や洗面器などにハウジングを浸けます。
2. 各レバーやボタンを真水の中で操作し、塩分を洗い流します。バキュームバルブのキャップはまだ取り外さないでください。
3. できれば、10～20分間、洗い桶に浸しておきます。
4. 真水から上げたら、弱い流水で洗ってください。強い水流を一定方向から当てると浸水の原因となりますので、絶対におやめください。
5. 水洗い後は、乾いたやわらかい布等で水気をよくふき取ってください。本体の水滴をブローアなどで吹き飛ばす場合は、センサーに直接エアを当てないよう注意してください。
6. バキュームバルブのキャップを取り外し、黄色のバルブを倒して陰圧を開放してからハウジングを開けてください。
7. また、必ずご自宅に戻ってからのお手入れも実施してください。後のトラブルにつながるおそれがありますので、現地での塩抜きのみでメンテナンスを終了させないでください。
8. 長期間使用しない時は、付属のシリコングリスをOリングに薄く塗ってから保管してください。Oリングは1年毎に交換されることをおすすめします。また、ご使用頻度により2、3年に1度のオーバーホールをおすすめします。

⚠ 注意

- 洗い桶に浸している時には、絶対にハウジングの開閉はしないでください。
- 海で使用後に放置すると、細かいすき間に残った塩分が結晶となり、水に溶けなくなってしまう。結晶化した塩分はOリングを押し上げ、浸水の原因となります。
- 使用後はハウジングの接合部などに水滴が残っています。ハウジングを開けた際の水滴、髪の毛やウエットスーツからの水滴にご注意ください。
- 炎天下での直射日光による乾燥や、ドライヤーなどによる乾燥は、故障や変形、破損の原因となりますので絶対におやめください。
- ハウジングを直射日光の当たる場所に放置しないでください。また、真夏の車内など高温になる場所への放置、保管はおやめください。内部温度の上昇により、ハウジングやスマートフォン本体の故障の原因となります。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性有機溶剤や化学洗浄剤でハウジングをクリーニングしないでください。
- 塩抜き後の本体に付着した水滴をエアブローなどで吹き飛ばす際は、センサーに直接空気を当てないよう注意してください。